

茂原市道の駅基本構想（案）に対する パブリックコメント（意見募集）の結果について

茂原市道の駅基本構想（案）について、皆様からご意見をいただくためにパブリックコメントを実施したところ、結果は以下のとおりでした。

意見等の募集期間

令和8年2月19日（木）～令和8年3月18日（水）正午

意見等の受付人数および件数

9人 53件

（提出方法：持参2人、郵送2人、ファクシミリ0人、電子メール5人）

ご意見と回答

No.	意見	回答
1	<p>以前、房総方面観光バスの拠点としても整備したいとの話が あったと思うが、大型駐車場枠8台はゆとりを持った台数である のか。</p>	<p>大型車の駐車台数は千葉県内の道の駅や茂原北インターチェン ジ周辺の交通量を参考に設定しています。現状、ゆとりをもっ た駐車台数として設定しておりますが、今後ニーズ調査等を行 い、検討してまいります。</p>
2	<p>p61の導入施設一覧に足湯の提案があったが、p80の配置計画に それが見当たらない。提案は棄却されたのか、もしくはその他 外構部や休憩施設に含まれるのか。</p>	<p>現状、本市の地域産業である天然ガスを活かした設備を導入す る方向で検討しておりますが、詳細については未定です。今 後、計画地の検討やニーズ調査等と併せ、導入施設について検 討してまいります。</p>
3	<p>1 駐車場に関して 延床2500㎡を超える施設規模に対して、駐車台数が少なく感じ る。また県内の他の道の駅の駐車台数を見るに、全面道路交通 量に対して余分を持った駐車台数を確保している道の駅が多いよ うに見える。最低でもつどの郷睦沢の小型車158台以上は必要 ではないかと考える。また動線に関して、配置計画では駐車場 内は一方通行により不可逆的な構造となっているが、駐車ス ペースが見当たらなかった場合の利便性や利用体験の悪化につ ながると感じ、起点に戻れる動線が必要と考える。</p>	<p>駐車台数について、千葉県内の道の駅や茂原北インターチェン ジ周辺の交通量を参考に設定しています。ご意見を参考とさせ ていただき、今後道の駅運営実績を有する事業者等との協議を 通じ、適正な駐車台数について、検討してまいります。 また、駐車場動線について、ご意見を参考とさせていただき、 計画地の検討に併せ、利便性や安全性に考慮した動線を検討し てまいります。</p>
4	<p>2 施設に関して。 大きくなくても良いので、芝生の公園や広場があると良いので はと感じた。運転に疲れた家族連れなどが楽しめる公園や広場 があれば、施設としても景観としても充実するのではないかと考 える。 また、かん水を利用した、足湯ではない一般的な入浴施設はコ ンスタントな利用客獲得や他との差別化につながると考える。 ヒアリング調査結果からコストが必要なことは察するが、茂原 市の強みである天然ガス/ヨウ素を分かりやすく伝えられるもの であり、また市原方面の所謂スーパー銭湯は週末家族連れで賑 わっている様子が窺えることから、市街地からの距離は多少あ るものの、スーパー銭湯の立地がない茂原や大網白里、土気と いった近隣地域住民の、日常から少し贅沢したハレの時の利用 が見込まれるのではと考える。初期投資としてのコストが高す ぎるのであれば、将来的な整備ができるよう用地を確保してお き拡張性を持たせる、あるいは、かん水利用は足湯に留め、一 般的なスーパー銭湯等の民間事業者を誘致するなど、季節にと らわれない安定的な集客や他との差別化を図っても良いのでは と考える。</p>	<p>広場や公園の設置は道の駅の魅力向上に加え、防災に寄与する 機能であると考えます。また、周辺施設や類似施設との差別化 も重要な観点であると考えます。ご意見を参考とさせていただ き、本市の賑わいに寄与する道の駅となるように、計画地の検 討やニーズ調査等と併せ、導入施設について検討してまいり ます。</p>

No.	意見	回答
5	<p>3 共用部、外構部に関して</p> <p>まだ土地の選定が未定であるため、コンセプト的な形状/外構提案だとは思いますが、まず調節池に関して、安全性を考えて子供が立ち寄らない大型駐車場の裏手が良いのではと感じる。そして全体を通して、一見普通のPAのようで、回遊性や視覚的な面で面白さや独自さが感じられないのではと感じる。</p> <p>また、例えば道の駅 KOKO 黒部のようなイメージで、施設とイベント広場、公園、(調節池を構造や安全性上、観賞用の池として成立させることが可能であるならば、池までを含め)を一体として視覚的、体感的に楽しめる配置にすれば、見た目としての個性やワクワク感、美しさが生まれると感じる。さらには施設を敷地内で完結させるのではなく、外への広がりを感じられる形状であればさらに良いと感じる。例えばレストラン等から、イベント広場や公園などの延長線上に田畑や山々が望めるような、借景を考えた構成や、いちご狩り体験などの体験スペースに直接的にアクセスできるような、地域の中に馴染んでいるような道の駅が良いと考える。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただき、計画地の検討に併せ、その計画地と周辺が持つ魅力を活かした施設計画について、他自治体の道の駅の事例等も踏まえながら、検討してまいります。</p>
6	<p>候補地位置について</p> <p>候補は県道21号線沿いとこのことで位置的に平坦で開けた本納NT前の現県道の交差点からR1 2 8側一帯の山と田が適しているのではないかと。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただき、計画地について、今後検討してまいります。</p>
7	<p>収益を上げることができるように目玉となる仕組みが欲しいです。「9道の駅の導入施設検討」にもありますが、一例としてグランピングができるようにしたり、入浴施設があったり、また時々イベントを開催できるようなスペースをつくったりするのはどうでしょうか。フードコートもあると面白いと思います。もちろん物品販売は道の駅の魅力を向上させる材料だと思います。</p> <p>道の駅の近くに集客できる施設があるのもいいですが一つだけだと南房パラダイスのように共倒れになる可能性があるため、一つの施設に頼ることの無いようにしたいと思います。集客を図る仕組みはいろいろあると思います。検討したいものです。</p>	<p>収益性及び集客力の確保は、道の駅の運営において非常に重要な要素であると考えます。ご提案いただいたグランピング施設や入浴施設等の導入については、他施設との差別化やニーズ調査等と併せて、今後検討してまいります。</p>
8	<p>維持するためのコストをできるだけ抑えられるようにしたいと思います。建設にあたり入札等で業者が決まるとは思います。建設費用だけの比較ではなく材料なども一緒に比較して判断したいと思います。ある有名建築家のデザインした建物が腐食やカビにより修繕が必要になっているという話もあります。長く存続できるように考えていきたいと思っています。</p>	<p>設計・建設にあたっては、デザイン性だけでなく、耐久性やメンテナンスの容易さも十分に考慮し、持続可能な運営を実現できるように、今後検討してまいります。</p>
9	<p>基本構想案(令和8年3月)の段階で茂原北インターチェンジを選定し、周辺地域より候補地を選定することとしましたが、国道128号線から橘樹神社方面を望む農地を推薦します。</p> <p>理由としては、茂原の歴史ある遺産橘樹神社及び「ほのおか」を軸として(仮称)上総国「たちばなの荘」道の駅をアピール出来るランドマークが存在しているからです。国道より橘樹神社を見れば稜(陵)線古墳が見えます。古くから「ほのおか」と呼ばれる丘陵です。全長約900m以上(世界最大級)あり、国道周辺からの景観は忘れ去られた「茂原らしさ」を現しています。また、西側奥には上総丘陵も広がり夕景はまた格別です。休憩施設と橘樹神社・田園を融合させた散策できる道の駅を提案いたします。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただき、計画地の検討に併せ、その計画地と周辺が持つ歴史等の魅力の活かし方について、今後検討してまいります。</p>

No.	意見	回答
10	赤目川調整池も含めた整備と防災拠点としての利用	調整池と一体となった整備や災害時の防災拠点としての活用などの防災機能については導入する方向で検討を進めております。詳細については、関係機関と協議を行いながら、今後検討してまいります。
11	成田空港からの利用客も視野に入れて道の駅を考えてはどうか？	圏央道の千葉県区間は、令和8年度内の全線開通を目指して工事が進められており、「外房のハブ」として広域的な集客が実現できるよう、ご意見を参考にさせていただきつつ、今後検討してまいります。
12	128号線の昼の交通量約2万台と県道67号+圏央道予測交通量との比較は？	周辺道路の交通量について、調査、比較、分析を行ったうえ、今後検討してまいります。
13	新治地区も候補と聞いたことがありますが、近所に作るとなると、騒音、渋滞、治安の悪化が懸念されます。また、実家、職場が下太田になりますが、特に水害問題が気がかりです。 本納ニュータウン造成後、水田、ニュータウン部の水が大雨の際家の脇の川に流れ込みました。2度の大雨で氾濫しました。山、水田を道の駅に造成した場合、水害対策をどのようにするのか気になります。地域関係なく、地元に住む人の迷惑にならないようにしてほしい。	計画地の検討にあたっては、周辺環境への負荷を抑えるよう努めます。水害対策については、調整池の整備や排水計画等の検討を行います。騒音や治安の悪化についても、安心安全の施設づくりのために適切な管理体制の構築など、今後検討してまいります。
14	建築場所の候補 ・真名団地 ・旧ひめはるの里跡地	基本構想策定にあたり市内3つのICで比較検討を行った結果、茂原北IC周辺を第一候補としております。具体的な建設場所については、今後検討してまいります。
15	どういう道の駅なら人気が出るのか ・いつでも清潔な道の駅 ・地元農家と協力をして仕入れた新鮮野菜 ・夜の減灯 ・地元名産品を使った食堂や売店 ・地元産のパンや焼き菓子など手作りのもの ・トイレの充実度 ・ドッグランの併設 ・犬と一緒に利用できるテラス席 ・コンビニエンスストアがある	魅力的な道の駅づくりのため、ご意見を参考とさせていただき、地元産の新鮮な野菜・商品の提供や、いつでも清潔な施設管理など、利便性や快適性、独自性を確保できるよう今後運営事業者等と協議しながら、検討してまいります。
16	道の駅の名称が何になるかわかりませんが、「茂原」という文字は四角形でイメージが硬いので「もばら」などひらがなにしたい丸いイメージであったほうが親しみやすいです。	ご意見を参考とさせていただき、市外の方にも本市の魅力が伝わり、長く愛され親しみを持てるよう、施設名称について今後検討してまいります。
17	初期投資はかなりかかるとは思いますが、へたにケチらない方が長く人気を保つ秘訣だと思います。正直、茂原市は何もかも中途半端です。カタログやフライヤー、広報誌などを見ても、いつまで昭和と平成を続けているのかと思います。デザイン的に。 道の駅を建設したら、観光案内所ができると思います。ディスプレイを配置し、ドローンを使った映像なども織り交ぜ、足を止めてつい眺めてしまうような案内動画を流してほしいです。上記に加え、ペーパーでの観光案内も作成したいと思います。そこで必要なのはパッと目に止まるセンスある案内紙です。高知県にある黒潮町。とても小さな町ですが「黒潮町ガイドブック」はよくできています。つい手に取ってみたいくなるデザインにただ旅をしてはわからないステキなスポットなども紹介されています。HPから見る事ができるので、ぜひ参考にしてください。茂原市として何をアピールしたいのか？それらをセンスよく詰め込んだガイドブックを設置するべきです。	他自治体の先進事例も参考に、案内の仕方について、検討してまいります。

No.	意見	回答
18	初めからハッシュタグを作っておく。利用した人が写真と一緒にハッシュタグを付けてもらえるように、施設のどこか目立つ所へ作っておく。そうすればこちら側でも何が人気なのかなど集計が取りやすいです。	SNSを通じた情報発信、利用者が自発的に発信したくなる仕掛け作りについて、検討してまいります。
19	子供専用の遊び場を作った場合、開場時間は道の駅の営業時間と合わせ、Closeの際には消灯するなど事故防止のためにきちんとした決まりも設けておいた方がいいです。	子供専用の遊び場を作る場合は、運営事業者と協議を行い、安心して子供を遊ばせることができる環境づくりを検討してまいります。
20	盲導犬や聴導犬などの介助犬と一緒に食事ができるのは当たり前として、愛玩動物の犬とも一緒に食事できるとよい。警察犬や災害救助犬はどうするか？	介助犬の受け入れはもちろんのこと、愛玩動物の同伴についても、ご意見を参考にさせていただき、検討してまいります。警察犬や災害救助犬への対応についても併せて検討してまいります。
21	雨水を南中学校のように、地下貯留する施設。	地下貯留施設の導入可否については、周囲への影響、建設コストや維持管理面、計画地の地質状況等を踏まえ、今後検討してまいります。
22	長距離バスの乗り入れ。（羽田空港・成田空港・温泉地など）長距離バスに乗る顧客が乗ってきた車の駐車場。	計画地の検討に併せ、ご意見を参考にさせていただき、周辺交通網の利便性向上に寄与する形を今後検討してまいります。
23	ドクターヘリが着陸できる場所。出来ることなら自衛隊の大型ヘリが着陸できるとなおさらよい。（災害時）	ご意見を参考にさせていただきつつ、関係機関と協議のうえ、計画地の検討に併せて防災機能に関しても、今後検討してまいります。
24	シャワー設備（男女別）。洗面道具も自動販売機で購入できると手ぶらで長距離トラックや、車中泊の顧客が利用しやすい。	管理運営コストやニーズ調査等を踏まえ、ご意見を参考にさせていただきつつ、導入について、検討してまいります。
25	管理事務所には茂原市だけでなく、外房地域の観光案内と産業の紹介・宣伝ができるインフォメーションを併設。	本市のみならず、外房地域全体の魅力を発信する拠点として、近隣自治体や関係団体と連携し、広域的な情報発信や特産品販売のあり方について、検討してまいります。
26	フォトスポット。（つつじ・コスモス・さくらなどの名所を作る、またはモバリんのモニュメント越しに茂原市の街並みが展望できる、富士山は見えないか？）	季節の花々やモバリんを活用したモニュメント等、視覚的に楽しめる演出について、検討してまいります。
27	車中泊の客が軽食を食べられるよう、深夜でも買える食料や飲料の自動販売機を充実させる。	他自治体の事例も参考に、自動販売機による軽食や飲料の提供については、近隣の商業の状況や維持管理コストを考慮しつつ、導入可否について検討してまいります。
28	トイレは客用の他に、スタッフ用のトイレがあるとイベントがやり易いと思う。	施設全体のレイアウト検討の中で、利用者とスタッフ双方の利便性・衛生面に配慮したトイレ配置を今後検討してまいります。
29	太陽光での発電だけでなく、災害時でも使える蓄電設備と充電設備。	太陽光発電システムや蓄電設備、またEV（電気自動車）充電インフラの整備等、防災拠点としての機能について、ご意見を参考にさせていただきつつ、今後検討してまいります。
30	災害用の井戸とポンプ。飲めなくてもトイレの水として使えればよい。	防災用の井戸や非常用ポンプの設置については、防災道の駅の事例を参考にしつつ、計画地の状況も踏まえながら、検討してまいります。
31	避難所として使用するなら備蓄倉庫。	地域防災計画との整合を図りつつ、ご意見を参考にさせていただき、設置について検討してまいります。
32	多目的室（イベント・会議など）	地域コミュニティの活性化や観光情報の活用、会議、ワークショップなど、多目的に利用できるスペースの導入について、検討してまいります。
33	飲食店の調理室の他に、イベント用の調理室が別にあるとよい。	ご意見を参考にさせていただき、イベント用調理室の必要性和運用方法について、検討してまいります。
34	喫煙場所の確保。	健康増進法に基づいた受動喫煙対策を徹底した上で、多様な利用者が快適に利用できるよう、適切な喫煙場所のあり方について検討してまいります。

No.	意見	回答
35	道の駅を、市民の「人生100年時代」の幸福（ウェルビーイング）を支える拠点とし、茂原の豊かな自然を活かした「遊びと学び」の体験を融合させて、歴史・文化（博物館・美術館）と自然体験を地続きにすることで、子どもたちが感性豊かに育ち、平和学習を含めた市民が自ら学び、教え合う環境で多世代が自然体で交流できる場を提案します。「千葉県生物多様性センター」や包括連携協定企業との官民共創による「健康増進」「ライフプラン」や「循環型社会」や「感動の共有拠点」とともに、「匠の技の継承」と、「防災や観光の広域連携」の機能を持った『外房のハブ』として整備してください。隈研吾氏等の世界的建築家による空間（木造建築）の中で、荻生徂徠の「志」を継承し、市民が主体的に創り上げる、サステナブルなランドマークを提案します。	「外房のハブ」として、多様なニーズに対応可能な道の駅としての在り方を今後検討してまいります。
36	【具体的な設置場所等の提案】 1. 圏央道PA（パーキングエリア）との共使い施設（例・富楽里とみやま）	計画地の検討に併せ、他市の事例（富楽里とみやま等）を参考に、関係機関と、連携の可能性や整備手法について協議・検討してまいります。
37	【具体的な設置場所等の提案】 2. 圏央道ETC2.0乗り越し料金据置制度の検討（例・木更津うまくたの里）	計画地の検討に併せ、関係機関と調整を行い、制度導入の可能性について今後検討してまいります。
38	【具体的な設置場所等の提案】 3. 鶴枝小学校（旧学校施設）の再利用（例・保田小学校）	廃校リノベーションによる成功事例は、地域活性化のモデルとして認識しています。本道の駅の整備にあたっては、最適な施設形態を今後検討してまいります。
39	【具体的な設置場所等の提案】 4. 郵便局等の施設との併設（例・グリーンファーム館山） ※地元企業が運営	物販や飲食機能に限らない、市民および来訪者の利便性を高める機能について、運営手法も含め、今後検討してまいります。
40	【具体的な設置場所等の提案】 5. スポーツ等の施設との併設（例・湘南ちがさき）※柳島スポーツ公園+柳島しおさい公園	周辺の土地利用計画や公園整備計画との整合を図りながら、スポーツやレクリエーション機能について、今後検討してまいります。
41	1. 遊びと学びのハブ：「自然を科学する」（県内博物館との連携） 茂原の植生や昆虫、天然ガスといった地質学的特徴を「生きた標本」として学べるコーナーを設置してください。単なる図鑑の知識ではなく、県内の博物館との連携により、デジタルアーカイブ展示や施設周辺の自然と連動したフィールドワークや採取した素材を使った遊びや、実験教室、全天候型の木育スペースなど「五感を使う学び」を期待します。※鉱石資料館やヨウ素リサイクル動画（㈱合同資源）等含む	茂原の天然ガスに係る地元企業をはじめ、地質、生態系を扱う博物館等の専門機関との連携による体験型学習等の機能について、今後検討してまいります。
42	2. 感性の共有のハブ：「街角の美術館」（県内美術館との連携） 県内の美術館と連携し、デジタルアーカイブによる観賞や、学芸員によるワークショップ、巡回ミニ展示、「七夕まつりミュージアム」を提案します。 地元のアーティストや子どもたちの作品をプロ仕様の照明や壁面で展示できるアトリエスペースやワークショップ機能を併設することを提案します。	既存の文化施設との機能分担を考慮し、賑わいを生む文化発信機能について、今後検討してまいります。

No.	意見	回答
43	<p>3. 歴史・教育のハブ：荻生徂徠の「志」を100年先へ本納ゆかりの荻生徂徠の言葉、「志なき人は聖人もこれを如何ともすることなし（志のない人は、どんな優れた人でも救いようがない）」を根本精神に掲げてください。</p> <p>八代操（鶴枝小学校に縁がある明治大学の創始者の一人）先生の「独立自治」や、「茂原飛行場や掩体壕」の戦史をもとにした平和学習や、「七夕まつり」の歴史を次世代へ繋ぐ「志の教育」を徹底し、市民が自ら学び、教え合う「共創型市民大学」を通じて次世代へ繋いでください。※明治大学との連携の検討 ※「茂原学」連携含む</p>	<p>茂原の風土を活かした機能および市民や大学等との連携について、今後検討してまいります。</p>
44	<p>4. 環境・生物多様性のハブ：「ミヤコタナゴ」保全と自然再興（ネイチャーポジティブ）</p> <p>千葉県生物多様性センターと緊密に連携し、国の天然記念物ミヤコタナゴの保護増殖活動や、里山の生態系を再現した「淡水水族館（ネイチャー・ミュージアム）」を設置してください。専門知見を活かした環境教育プログラムを市民大学の柱とし、失われた自然を回復させる「100年後の生命の森」を創出してください。</p>	<p>自然と共生する道の駅のあり方や施設計画について、今後検討してまいります。</p>
45	<p>5. 人生100年時代のウェルビーイング・ハブ（官民連携）：心身の健康と学びの循環</p> <p>包括連携協定を結ぶ企業の知見を活かした「健康増進プログラム」や「ライフプラン講座」を常設。多世代が交流し、生涯を通じて役割と喜びを持てる「ウェルビーイング（幸福な暮らし）」の拠点を創出してください。※市立図書館との連携含む</p>	<p>包括連携協定を結ぶ企業の知見を活かすなど、多世代が交流できる拠点について、今後検討してまいります。</p>
46	<p>6. カーボンニュートラル・ハブ：循環型社会（SDGs）の体現</p> <p>企業のネットワークによる廃油リサイクル、地域課題を解決する竹炭（バイオ炭）の活用、天然ガスによるエネルギー自給を導入。建物自体が100年先を見据えた「環境教育の教材」となるよう、隈研吾氏等の設計によるぬくもりのある木造建築で、建物自体を鑑賞の対象とすることを提案します。</p>	<p>環境に配慮した施設計画について、今後検討してまいります。</p>
47	<p>7. クリエイティブ・ハブ：感動の共有拠点</p> <p>市民大学の成果発表、伝統芸能、アニメ・漫画文化、映像作品の試写会などができる多目的空間を設けてください。世界的建築家の空間を背景に、市民一人ひとりが主役として輝き、ロケ文化等がそれを支える「感動の共有拠点」としてください。※「茂高町塾」→「トレカでまちおこし!!」プロジェクトとの連携含む</p>	<p>文化発信の拠点としても活用可能な多目的空間の導入について、今後検討してまいります。</p>
48	<p>8. マイスター・ハブ：食・農・商工の匠の技の継承</p> <p>本納の「のぎわねぎ」や「黒いちご」を食材とした、石井菓子店、三矢菓子店、レーヴ、黒船、キューッソン、ノールム、ハッピードーナツ等の匠の技を統合した「スイーツ・ハブ」を構築し、焚き火を愛でながら、木造建築の中で「贅沢な食体験・食育」を提供してください。</p>	<p>地元産品を活かした食体験の提供等、地域産業の振興に資する機能について、今後検討してまいります。</p>

No.	意見	回答
49	<p>9. 防災・広域連携のハブ：命を守る「フェーズフリー・インフラ」外房最強の中継拠点</p> <p>民間企業等の知見を活かした「事前防災、避難計画の発信」。自家発電、天然ガス温泉「黒湯」、マンホールトイレ、備蓄倉庫を完備し、「RVパーク・充電・給電・蓄電池・シャワー・足湯・電動モビリティ等の平常時に共使いできる施設」も検討してください。過去の浸水被害を含む自然災害での教訓を活かした「防災教育、サバイバル術の伝承」。流域治水の要である「田んぼダム」の取り組みの発信拠点としてください。</p>	<p>災害時だけでなく平常時も活用できるフェーズフリーな防災機能や、過去の災害や防災への取り組みの発信拠点としての活用等について、今後検討してまいります。</p>
50	<p>10. 観光・広域連携のハブ：外房・長生いすみ地域のコンシェルジュ機能</p> <p>茂原だけでなく「外房・長生いすみ地域等の周辺自治体の観光・環境・SDGsの取り組みを一括発信」。ロケ地情報やパワースポット等と連動し、東京2020オリンピック・サーフィン会場（釣ヶ崎海岸・一宮町）を含む、外房全体の回遊性を高める「広域コンシェルジュ機能」を備えてください。</p>	<p>外房・長生いすみ地域の「玄関口」として、周辺自治体と連携した広域的な観光機能や、広域的な回遊性を高めるための仕組みについて、今後検討してまいります。</p>
51	<p>400億円の借金地獄から少し明るい兆しが見え来たところだといふのに、赤字しか見込めない道の駅を作ろうとするのは、第二の夕張の危機を、忘れてしまっているのではないか。</p> <p>道の駅といえども4~50年後には劣化してしまうし、どこも赤字だというのではないか。採算性をよくよく調査して、赤字にならないようにするべきだ。ただの流行でやってはいけない。そして、調査の結果、黒字にならないのであればやめるべきだ。コンサルに騙されてはいけない。これ以上の赤字は茂原では厳禁だ。</p>	<p>本事業においては、持続可能な施設運営に向けた採算性の精査や、健全な財政運営に資する事業スキームのあり方について、検討してまいります。</p>
52	<p>茂原には都会の人間を呼び寄せられる、全国的に有名な農作物はない。高品質で値段の高いものは都会の方が高く売れるから、都会へ運ばれてしまい、地元には回らない。</p> <p>県内には白井・松戸の「梨」、館山の「びわ」、富里の「スイカ」、銚子の「キャベツ」、八街の「ピーナッツ」などあるがこれも季節的なものだ。しかも農作物は連作障害が起きる。通年で提供できるものはイノシシかもしれない。ガジビエ料理を出すのは市内で1店舗しかない。量も採算もまだまだなのではないか。</p> <p>茂原市民或いはその周辺住民の購買能力はたかが知れている。茂原駅前にあったそごうが撤退したことで明白になったのではないか。購買層が少ないと。その頃より今のほうがより可処分所得が少なくなっている。増えることはない。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただき、地域の特性を踏まえた魅力ある商品展開や、広域的な利用者の取り込みによる新たな市場の創出について、民間事業者等へのヒアリングも行いながら、今後検討してまいります。</p>
53	<p>今あるインフラを取捨選択して少しずつリフレッシュさせていかなければならない。漏水する水道、陥没する下水道、デコボコの道路の修理は待ったなしだし、その他にも、これまで何度も起こっている「介護殺人」事件など、手を尽くさなければならぬことが山積しているのではないか。</p> <p>茂原は400億円がなくなるまでは雌伏の時である。</p>	<p>本事業においては、持続可能な施設運営に向けた採算性の精査や、健全な財政運営に資する事業スキームのあり方について、検討してまいります。</p>